

事業所名

くろーばー2nd

支援プログラム（案）

作成日

2025年

3月

1日

| | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|----|----|-----|---------|----|---|----|
| 法人（事業所）理念 | | 日常生活や社会環境での自立への援助を目的とし、ひとりひとりに寄り添ったサービスを提供します。 ご家庭・学校等の関係機関と連携をとり、お子様の成長に合わせた支援内容を模索し、できる！できた！をひとつでもふやせるよう支援します。 | | | | | | | |
| 支援方針 | | <ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達や特性に応じた支援を提供できるよう子供達をよく観察し、お子様の心に寄り添いながら「できた！」を積み重ねチャレンジする精神や意欲を育てる。 ・ご本人と保護者が安心して、信頼して頂けるような関係づくりを目指します。 ・将来の自立と社会参加を目指した支援を提供します。 | | | | | | | |
| 営業時間 | | 11時 | 0分 | から | 17時 | 30分 | まで | 送迎実施の有無 | あり |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 手洗いやうがい、お着替えなどの基本的な生活習慣を身につける支援を行います。また、手洗いやうがいの重要性を学び感染予防に努めます。 トイレトレーニングや食事のマナーもサポートし、日常生活を自立して行えるよう支援します。 | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 公園での運動やボール遊び、室内でのダンス、トランポリン、バランスボールを取り入れて体を動かす楽しさや触覚・運動感覚の発達を促し、自己調整能力を養います。 また、ブロックや折り紙、工作等を行い微細運動ならびに五感を活用し季節の変化も学んでいきます。 | | | | | | | |
| | 認知・行動 | カードゲームやブロックを使って記憶力や数・物の大きさ・長さ・重さなど日常生活に必要な概念を視覚・聴覚・触覚・感覚機能を刺激しながら身に付けていきます。 また、トランプ等の集団ゲームでは、ルールを守りながら順番を待つなどの行動を通じて、自己制御力を身に付けます。 人の話を聞いたり、周囲の様子を見て自分で考え行動できる力を養います。 | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 会話を楽しむ中で、語彙を増やし言語表現を豊かにします。 また、発語が難しい児童には絵カードや指差し・クレーンやマカトンなどで意思表示が出来るよう支援します。 | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | SST（ソーシャルスキルトレーニング）を取り入れ、協力し合う事や順番待ち等を学び、問題解決能力、メンタルコントロール、社会的なルールを学び理解出来るよう支援します。 | | | | | | | |
| 家族支援 | | 連絡帳や定期的な面談にて、こまめな気づきの共有と情報交換を行いご家族の不安や心配事を取り除けるように努めます。 | | | | 移行支援 | | ご家族の了承を得て、移行先である学校や他療育施設、関係機関と連携を図り、お子様の様子や支援方針などについて情報共有に努めます。 | |
| 地域支援・地域連携 | | 必要に応じて、他療育施設と日々の様子や支援内容を共有し連携を図ります。 | | | | 職員の質の向上 | | オンライン研修・外部研修等、年間研修計画に基づき行います。 | |
| 主な行事等 | | 季節の行事、イベントや創作活動 近隣施設、公園へのお出かけ 外出を伴うレクリエーション | | | | | | | |